

## 歩きたい道

心が落ちつく散歩道があなたにもあると思います。その道はあなたの財産です。つらいときには、家でモヤモヤとしているよりも、思い切って外に出て、少し遠くまで手を振って歩くといいでしょう。家にもどってくれば気分が晴々としています。

高野山に「蛇腹道<sup>じゃばらみち</sup>」があります。幅は四メートル、距離は百メートルほどの地道です。ちょうど蛇の腹のように、道の中央部分が盛りあがっていますから、「蛇腹道」と通称されているようです。この道の両側の石垣にはアセビやコウヤマキ、カエデなどが植えられています。

私は蛇腹道がとても好きで、少し遠回りになっても、いつもこの道を歩くようにしています。鬱蒼としげった樹木が季節の彩<sup>いろどり</sup>を添え、四季おりおりの変化を楽しませてくれます。紅葉の季節には、山内僧侶たちが金欄の袈裟をつけて、散華しながら蛇腹道を歩くというイベントを行なっています。

また、雪の蛇腹道もいいものです。伽藍に聳える朱色の根本大塔が白銀にいつそうに映えたちます。ここを歩いていると、高さ50メートルの大塔が樹木しげみを移動していく様子がとても面白く、私は思わずゆっくりと歩いてしまいます。

市街地は車の往来が激しく、まわりを注意しながら歩かなければなりません。散歩には、小高い丘があつて、水辺のほとりの落ち葉を踏むような小道があれば最高です。街ではとても無理な望みでしょうけれども、しかし、探せば気にいる道があるはずです。

金龍寺の周辺は、戦災で類焼を免れた地域です。御剣<sup>みつるぎ</sup>学区内には、戦前からの小道が各所に残っていて、一時間の「御剣散歩コース」がつくられています。その散歩コース⑥ポイントに八剣社<sup>はっけんしゃ</sup>があります。御社の裏側にある細道の峠に立てば、名古屋高速の高架が目の高さに眺められます。私はこの峠で市街地の夜景を眺めたり、街の轟きを聞いたりすることが好きです。なお、金龍寺はこの散歩コース⑨ポイントの通り抜けになっています。一年に一度、数百人の散歩ツアーが大観音の前を通過していきますが、なぜかチャリンという賽銭の音が聞こえません。

金龍寺の北側には名古屋私立大学(旧八校)があります。大学の校庭には樹木が鬱蒼としげった小道がありますから、私はしばしば校内を散策します。八校古墳の上で腰を下ろし、吹奏楽やバスケットボール、弓道などを行っている学生たちの部活の音を浴びていると、私もなにかがしかの元気パワーが出てきます。ただし、夏は蚊の攻撃を受けますから、ご注意を！